



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
閲覧禁止

私には

犠牲 (YUKI)

役目がある

おはよう
ございます

朝食の時間
です

その役目が
何なのか

それはまだ
分からない

分かることは

その役目は
とても重要で…

おはよう
ノラン…

その為にも
こんな所で
死ぬわけには
いかないという
こと

生きてヤマトに
帰ってみせる

ヤマトが
沈んだなんて
信じない

今日の朝食は
何にしようかしら

…事情が
変わってね

貴方のお世話の
仕方が
変わってしまった

…って
これを言うの
もう何度目かな…

貴方は
食事の代償を
貴方の身体で
支払わなければ
ならない

分かって
いるわ

生きる為なら
今の私は
どんなことだつて
してみせる

今日は
Aメニューに
しようかしら

Aメニューか…



日常

驚きはしない
もうこれが
生きる為の…



彼は
答えない

ねえ
交尾に
キスは
必要なの？



舌を
絡められ

彼はもう
私の全てを
知っている…

勃起した
乳首を
摘まれて
しまえば…

あゝ



Aメニューは…

交尾1セットだ

私の身体は
あつという間に
交尾の準備が
できてしまうのを

彼はもう
だいぶ前から
知っている

貴方の身体は
正直だ

……しかし

貴方は
嘘を
ついていた

貴方は
イスカンドル人
ではなかった…

……

でも貴方は
レプタポードで
僕を助けてくれた

…だから貴方が
誰であろうと

貴方の命は
必ずお守りします

…すまない

今は
それだけしか
できないんだ…

ルルル

んん……っ

ギシシ

ギシシ

フー♡

フー♡

これまで
大切に
守ってきた
私の性器…
排泄する
為の
恥ずかしい
穴…
全部…

丸見え…

んっ

んんっ

ふっ

恥ずかしい…

中の「味」も

知られちゃった…

「あの人も
まだなの…」

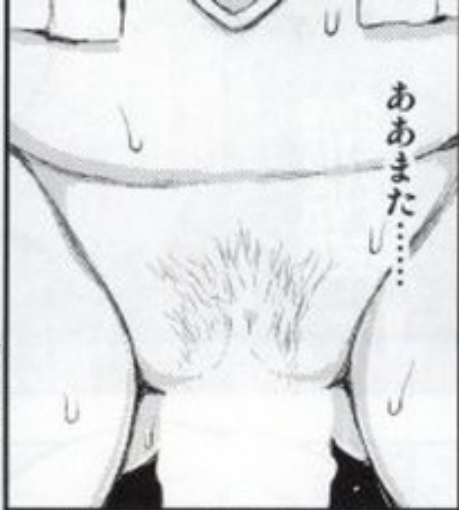
え？



はあ

はあ

……



ああまた……



何で……

何で……



だめ……っ！

少し焦らされた
だけなのに……

おちんちん
欲しくて

おしり振っちゃうー！

何で
止めるのお……っ

ばかあ

ばかあ……♡

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

はちゅっ
はちゅっ

私は変わった...

でもこれは生きる為に仕方ない事！

昼食はBメニュー

Bメニューか

じゃあ交尾1セットだ

昼の交尾は朝の交尾と違って

ん...っ

んんっ

少し...
...粘っこい...

今朝したばかりなのに

おまんこの啼き方

もう変えられちゃった

ゲチエッ

ゲチエッ

ゲチエッ

ゲチエッ

発情させられちゃった！



今日も「アレ」するんだ...



朝もして
昼もして

流石に夜は
と思っただけど

やつぱり
する気なんだ

夜の交尾

アホエッ

アホエッ

ゴワッ

ゴワッ

準備なんて
簡単

クリトリスの
中身を出して

おちんちんで
おまんこの蜜を
掻き出せば

やだあ…

だめえ…っ

私の身体は
牝の匂いを
振りまき始める

おちんちんが
その匂いを嗅ぐと
夜の交尾の準備を
始めてしまう

プルプル

IPチャッ

IPチャッ

IPチャッ

キュュー

キュュー

キュュー

準備のできた
おちんちんを

だめえ…

拒むことなんて
できない

今日の夕食は
Cメニュー
にするわ

Cメニューは…

いよいよ夜の交尾が始まった

夜の交尾は本格的な繁殖の為の交尾だ

部屋中に濃厚な交尾の匂いが充満していく

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

私のおまんこはおちんちんとコンッコンッとノックされただけで子宮口を開いてしまう

その度に私の子宮はたくさんの精液を注ぎ込まれる

子宮に精液を注ぎ込まれる感覚は尋常じゃない

熱い精液が私の無防備な子宮の壁をねっとり舐める度

甘くてダルい痺れが子宮からお腹に腰に背中にお腹に胸に乳首に脳に広がっていく

私は
たった二本の
おちんちんに
身体も頭も
支配されてしまう

朝の交尾は
突かれない

昼の交尾は
掻き混ぜて
もらいたい

夜の交尾は
たくさん
飲ませて
もらいたい

おまんこ
おちんちんを
打ち付け合う

これが
私の生きる為の
日常だ



んっ♡
んっ♡
んっ♡

んふっ♡
♡

んっ♡

んあっ♡
♡

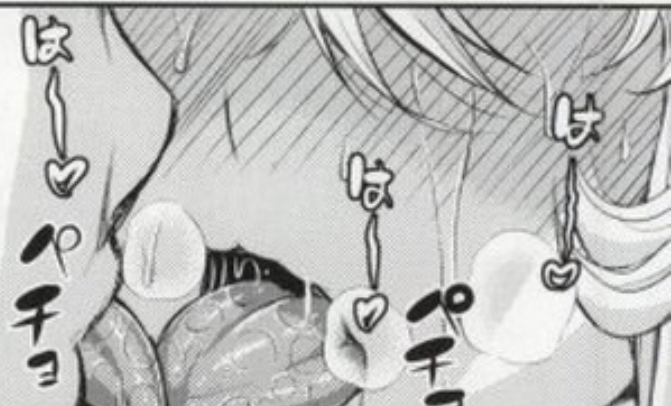
そして
「交尾だから
何度絶頂しても
大丈夫」
その安心感が
今日も
私を誘惑する

ほら……もう……
……ダメ……



私達は愛しあう
事ができる
例え違う
種族でも
だから私は
今日も……

完



ウハッ

準備は出来ているようだね

……今日も

…するんですか？

おいおい
私は君の為に
してあげてるん
じゃないか

そんな
顔をしないで
くれよ

ほら

あっ

偽生 (MURIA)

モグ

モグ

思い出すのも
悍ましい
あのガミラスに
捕らえられた
地獄の日々

あれから
もうどれ位
経ったのかな

さあ
召し上がれ

……



美味しいかい？

んっ

じゃあ次はいつもみたいにチューチューしてくれるかな？

私は今こうやって無事にヤマトにいる

それなのに…

それなのに
なんで私
まだこん
こどして
んだろ？

おっば
やっば
上手いねえ

腰が
蕩け
そうだ

ぐゅーっ
ぐゅーっ



分からない
なんだか
頭がずつと
ぼーっとして

どうだい
君に憑依した
っていう
異星人の魂も
喜んでるだろ？

異星人の魂…？
なんだっけ
思いつかない…

確かに私
霊感強いけど…
だからって…

ぐゅーっ
ぐゅーっ

ぐゅーっ
ぐゅーっ

どうしたんだい
今日はなんだか
きこかないね

…あつ
そうか
わかったぞ

今その魂を
呼び出して
あげるからね

ほら
ここに
入ってる
んだらう？

君がいつも
淫らなのは
異星人の魂が
表に出てきて
いるのなんだ
原因なんだ

何これ！
おっぱいの中
ソクソクしてる…

本当に
私の中に
異星人の魂が？

なかなか
出てこないね

君も苦しい
だらう？
そんな淫乱な
魂抱え込んで

…苦しい？

…そう
なのかな

甘いような
だるい感じ
身体中に
広がっていく

しようがない
「鍵」を使うか



な鹿馬鹿な設定
こみじやがって

どうだ？
出てきたか？
ドスケベな魂はよ！

あ♡

あ♡

あ♡

ゴキウッ
ゴキウッ
ゴキウッ

ゴキウッ
ゴキウッ
ゴキウッ

そっか

何言ってるんだろ
この人…

…言葉が変わった？
そんな急に…

ゴキウッ
ゴキウッ
ゴキウッ

んあ♡

アゲニ

ズル

これだから
テロン人は

ゴキウッ
ゴキウッ
ゴキウッ



私の中に
あるっていう
異星人の魂が
いま出て
きちゃったんだ

今の私は
私じゃない

だったら…

うーん
うーん

んんん

んんん

んんん

んんん

ブツブツ
ブツブツ

もっとお

もっとお
おちんちん
欲しいよおっ

いお
いお

調子
いつも
戻った
な

んんん

これは
私じゃない

イツちやうつ

また
イツちやう
よおつ

じゅんじゅん

じゅんじゅん

ああっ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこに
おまんこを
埋め込まれる
おしりを振りたくて
堪らなくなつちやう

ぐちゅぐちゅの
おまんこが
はじたない音を
上げる度に
恥ずかしいけど
興奮しちゃう

こんなの
私じゃない

だから今は
思いつきり...

ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ



ホシナ…
クシナ…



塩屋蛇通信